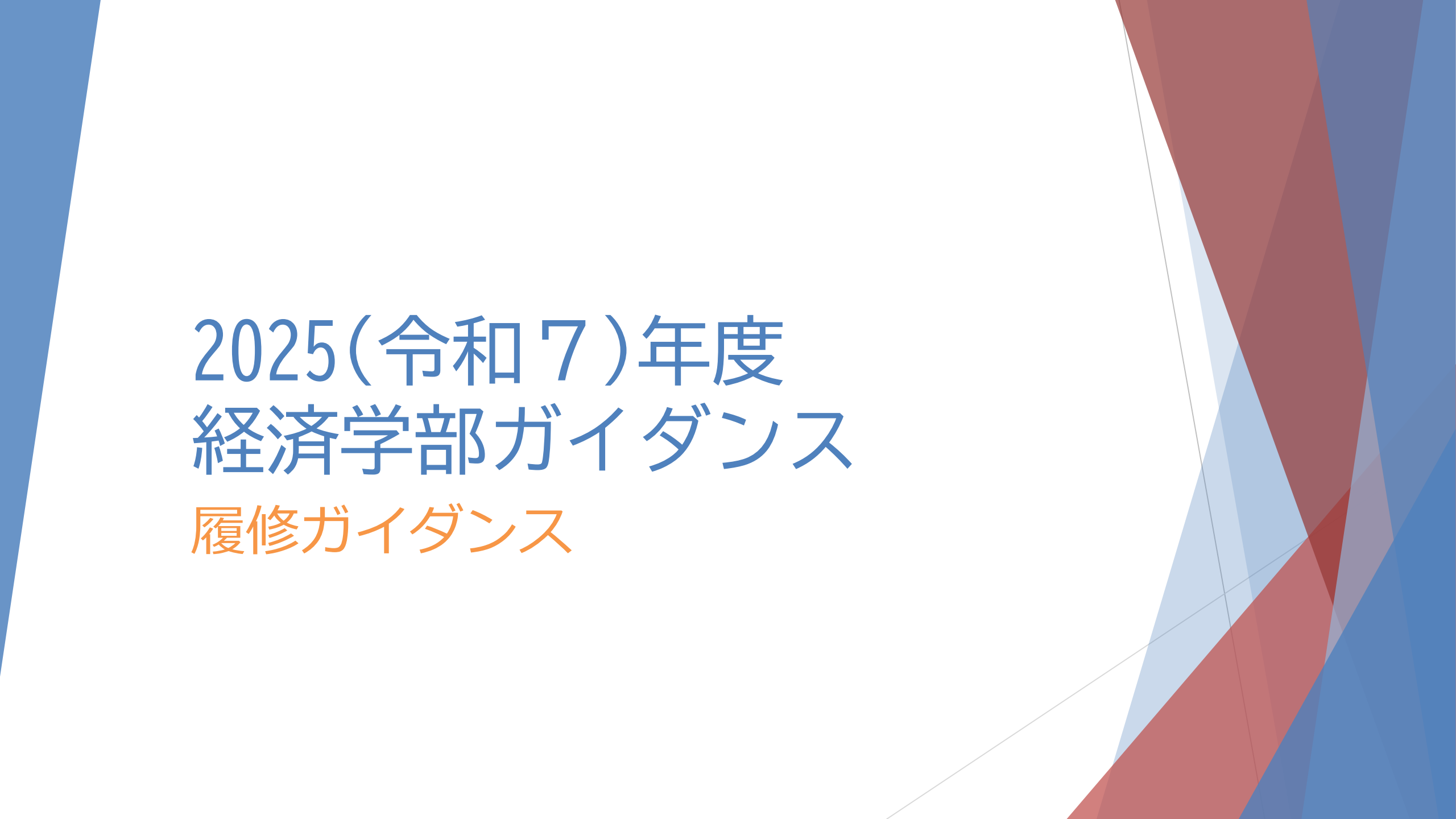




2025(令和7)年度 経済学部ガイダンス

履修ガイダンス

2年次生としての心構え

▶ 3年次以降は、

⇒ 履修に関する対面でのガイダンスは実施いたしません。

⇒ 「時間割」冊子はデータ形式での配布になります。

となります。

以降は、ご自身の単位の修得状況を理解し、

それを踏まえた適切な履修登録を行い、

4年間で卒業できるよう、本日のガイダンスで

より一層カリキュラムに対する理解を深めてください。

自身の単位修得状況を再確認

①成績通知書

※スマートフォン等で閲覧

[illegible]

②科目一覽

※「時間割」冊子の該当ページ

[illegible]

「成績通知書」は、
WEB履修システムより
ダウンロード可能です。

学生メニユー

学生メニユー

WEB履修

- ➡ 履修申請
- ➡ 単位修得状況照会
- ➡ 抽選授業結果確認
- ➡ 登録情報照会
- ➡ **履修届・成績通知書照会**
- ➡ 学生住所等情報登録申請
- ➡ 履修中止

卒業に必要な単位（卒業要件単位）とは？

▶ 2020（令和2）年度以降入学者 卒業要件単位

区 分		卒業要件単位		備 考
転換・導入科目	専修大学入門科目		2	①4年次で専門科目8単位以上修得しなければなりません。3年次終了までに卒業要件単位(124単位)を満たしている場合でも同様です。 ②自由選択修得要件単位には、所定の卒業要件単位数を超えて修得した転換・導入科目、教養科目、外国語科目、専門科目、資格課程の一部の科目、全学公開科目の単位が算入されます。
	専門入門ゼミナール			
	キャリア基礎科目			
	情報リテラシー科目			
	基礎自然科学			
	保健体育基礎科目	2		
教養科目	人文科学基礎科目	8	8	
	社会科学基礎科目			
	自然科学系科目			
	融合領域科目			
	保健体育系科目			
外国語科目	英語	4または6	10	
	英語以外の外国語	4または6		
	海外語学研修			
専門科目	導入科目	10	76	
	基礎科目	8		
	基幹科目	16		
	発展科目	22		
	応用科目	20		
	関連科目			
自由選択修得要件単位		28		
卒業要件単位		124		

卒業には、
最低でも **124単位** の修得は必須

各区分ごとに定められた
単位を修得する必要がある



各区分ごとに定められた単位
卒業要件単位

▶ 2020（令和2）年度以降入学者 科目一覧

[illegible]

区分	1 学年次	2 学年次	3 学年次	4 学年次	卒業 単位要件	備
専	導入科目 現代社会論 経済学入門 初級英語入門 初級数学基礎 初級化学基礎 初級生物基礎 初級地学基礎 初級保健体育基礎				8 10 2	10
門	専門科目一覽				8	
科	必修科目 基礎科目 専門科目 選択科目 自由選択科目	必修科目 基礎科目 専門科目 選択科目 自由選択科目	必修科目 基礎科目 専門科目 選択科目 自由選択科目	必修科目 基礎科目 専門科目 選択科目 自由選択科目	2 16 8 2 22 8	28 16 8 2 22 8
日	必修科目 基礎科目 専門科目 選択科目 自由選択科目	必修科目 基礎科目 専門科目 選択科目 自由選択科目	必修科目 基礎科目 専門科目 選択科目 自由選択科目	必修科目 基礎科目 専門科目 選択科目 自由選択科目	2 16 8 2 22 8	28 16 8 2 22 8

専門科目一覽

※科目名
単位数

卒業までに必要単位(76単位)を満たしている場合も同様です。
卒業までに必要単位(76単位)を満たしている場合も同様です。
卒業までに必要単位(76単位)を満たしている場合も同様です。

※科目名の後ろに記載されている()内の数字は、
単位数を示す(記載のない科目は2単位)。

皆さんが在学中に履修することができる科目がまとめられています。
「学修ガイドブック」や「時間割」冊子等に掲載されています。

成績通知書の見方

214-8580
神奈川県川崎市多摩区東三田
2-1-1

令和 年度 専修大学 成績通知書

2100年 0月0日 出力

専修 太郎 様
EE99-1000A

学部学科	経済学部 現代経済学科	学籍番号	EE99-1000A
専攻・コース		氏名	専修 太郎
学年	X年度		
カリキュラム	2099年度		

カリ キュラム 種別	プログラム 企業産業プログラム

単位取得状況

授業科目区分	分野別単位数計			卒業 要件	単位 取得後 卒業単位
	本年度	修得 単 位	計		
総合計	38	85	123	-	123
卒業要件合計	38	85	123	124	123
転換・導入科目	0	14	14	2	2
専修大学入門科目	0	2	2	-	0
専門入門ゼミナール	0	2	2	-	0
キャリア基礎科目	0	2	2	-	0
情報リテラシー科目	0	4	4	-	0
基礎自然科学	0	2	2	-	0
保健体育基礎科目	0	2	2	2	2
教養科目	0	10	10	8	8
人文社会	0	10	10	8	8
人文科学基礎科目	0	0	0	-	0
社会科学基礎科目	0	8	8	-	8
自然科学系科目	0	0	0	-	0
融合領域科目	0	2	2	-	2
保健体育系科目	0	0	0	-	0
外国語科目	0	13	13	10	10
英語	0	9	9	-	9
英語以外の外国語	0	4	4	-	4
海外語学研修	0	0	0	-	0
専門科目・全学公開科目	38	46	86	-	76
専門科目	38	46	86	76	76
導入科目 (必修)	0	8	8	8	8
導入科目	0	4	4	2	2
基礎科目	0	8	8	8	8
基幹科目	0	16	16	16	16
基幹科目 (理論)	0	4	4	2	4
基幹科目 (実・理)	0	12	12	8	12
発展科目	22	0	22	22	22
発展科目 (理論)	4	0	4	2	4
発展科目 (実・理)	18	0	18	8	18
応用科目・関連科目	16	12	28	20	20
応用科目	12	8	20	-	20
関連科目	4	4	8	-	8
全学公開科目	0	0	0	-	0
教養課程	0	0	0	-	0
図書館	0	0	0	-	0
司書教諭課程	0	0	0	-	0
学校司書課程	0	0	0	-	0
学芸員課程	0	0	0	-	0
自由選択要件	0	0	0	28	27

判定結果

GPA 4.00

オンライン授業修得上限単位	
履修 修得 合計	

<補足>
[単位修得状況について]
・分野別単位数計は授業科目区分ごとの修得単位です。
・単位修得後卒業単位は、各学部・学科のカリキュラムに基づいた卒業要件となる修得単位です。
【注意】
単位修得後卒業単位は、卒業要件単位の修得を確認する目的で表示しています。したがって、卒業要件が配置されていない区分(卒業要件が“-”表記となっている区分)については、原則として分野別単位数計の単位数を表示しています。

備考：再履修科目 ※1年次配当科目
区分：○オンライン授業 EE99-1000A

本年度成績修得終了科目									前年度までの修得科目											
科目	曜日	時間	担当	単位	区分	本学 成績	前年度 成績	備考	科目	年次	年度	単位	区分	備考	科目	年次	年度	単位	区分	備考
=専門科目=====									=転換・導入科目=====											
=									=											
---発展科目 (理論)-----									---導入科目-----											
経済成長論1	金	2	前 専修 教授	2	75	B+			専修大学入門ゼミナール	1	2099	2	S		経済学基礎	1	2099	2	B	
経済成長論2	金	2	後 専修 教授	2	66	C+			キャリア入門	1	2099	2	A+		統計学基礎	1	2099	2	A	
---発展科目 (実・理)-----									基礎科目	1	2099	2	S		基礎科目	1	2099	2	A	
地域経済論2	水	2	後 専修 教授	2	70	B			情報入門1	1	2099	2	S		ミクロ経済学1	X	2099	2	C+	
産業論	水	1	前 専修 教授	2	78	B+			あなたと自然科学	1	2099	2	B		ミクロ経済学2	X	2099	2	B	
産業応用論	水	1	後 専修 教授	2	85	A+			スポーツリテラシー	1	2099	1	B+		マクロ経済学1	X	2099	2	B+	
労働経済学1	水	3	前 専修 教授	2	80	A			スポーツウェルネス	1	2099	1	A		マクロ経済学2	X	2099	2	C+	
労働経済学2	水	3	後 専修 教授	2	89	A+			=教養科目=====					近代経済学史1	X	2099	2	S		
中堅企業論	月	1	前 専修 教授	2	72	B			=					近代経済学史2	X	2099	2	A+		
ベンチャー企業論	月	1	後 専修 教授	2	86	A+			---基幹科目 (実・理)-----					---基幹科目 (実・理)-----						
情報経済論1	火	1	前 専修 教授	2	80	A			---社会科学基礎科目-----					企業経済学1	X	2099	2	B		
多国語企業論	火	2	前 専修 教授	2	77	B+			企業経済学2	X	2099	2	A		企業経済学2	X	2099	2	C	
---応用科目-----									情報社会	X	2099	2	A+		産業経済論1	X	2099	2	A	
ゼミナール3	金	4	前 専修 教授	2	75	B+			情報社会	X	2099	2	A+		産業経済論2	X	2099	2	A+	
ゼミナール4	金	4	後 専修 教授	2	85	A+			はじめての経営	X	2099	2	B		国際経済論1	X	2099	2	A	
ゼミナール研究論文2	定	後 専修 教授	2	80	A				企業と会計	X	2099	2	B		国際経済論2	X	2099	2	B	
学位特許研修	火	5	通 専修 教授	4	95	S			---応用科目-----					ゼミナール1	2	2099	2	A		
外国経済事情 (英語)	月	2	前 専修 教授	2	90	S			ゼミナール2	2	2099	2	A		ゼミナール2	2	2099	2	A	
---関連科目-----									ゼミナール研究論文1	2	2099	2	A		寄付講座	X	2099	2	S	
地域と経済史	月	3	前 専修 教授	2	98	S			---関連科目-----					---関連科目-----						
福祉と経済史	金	3	前 専修 教授	2	70	B			---英語-----					英語2原理1	X	2099	2	A		
=====以下余白=====									英語2原理2	X	2099	2	A		=====以下余白=====					
									Intermediate English (RL) 1a	1	2099	1	A+							
									Intermediate English (RL) 1b	1	2099	1	A							
									Intermediate English (SR) 1a	1	2099	1	B							
									Intermediate English (SR) 1b	1	2099	1	B+							
									Intermediate English (SR) 2a	X	2099	1	A+							
									Intermediate English (SR) 2b	X	2099	1	A+							
									English Speaking a	X	2099	1	S							
									English Speaking b	X	2099	1	A							
									Computer Aided Instruction for TOEIC a	X	2099	1	S							
									---英語以外の外国語-----											
									中国語初級1 a	1	2099	1	S							
									中国語初級1 b	1	2099	1	S							
									中国語初級2 a	1	2099	1	S							
									中国語初級2 b	1	2099	1	S							
									=専門科目=====											
									=											
									---導入科目 (必修)-----											
									現代経済基礎	1	2099	2	C							
									経済学入門	1	2099	2	A+							
									ミクロ経済学入門	1	2099	2	B+							
									マクロ経済学入門	1	2099	2	C							

214-8580
神奈川県川崎市多摩区東三田
2-1-1

令和 年度 専修大学 成績通知書

2100年 0月0日 出力

(JCI00001)

専修 太郎 様
EE99-1000A

学部・学科	経済学部 現代経済学科	学籍番号	EE99-1000A
専攻・コース		氏名	松岡功助
年次	X年次		専修 太郎
カリキュラム	2099年度		

カリ キュラム 種別	プログラム 企業産業プログラム

單位修得狀況

	授業科目区分	分野別単位数合計			単修 単費	単位 換算 率
		科目数	既習科目	計		
	総合合計	38	85	123	-	123
	卒業要修単位数合計	38	85	123	124	123
止 止 止	総論・導入科目	0	14	2	4	2
	専修化学入門科目	0	2	2	-	0
	専門入門学ニ関する	0	2	2	-	0
	キャリア学習基礎科目	0	2	2	-	0
	情報リテラシー科目	0	4	4	-	0
	基礎自然科学	0	2	2	-	0
	保健体育基礎科目	0	2	2	2	2
	教養科目	0	10	10	8	8
	人文社会	0	10	10	8	8
	人文科学基礎科目	0	0	0	-	0
	社会科学基礎科目	0	8	8	-	8
	自然科学系科目	0	0	0	-	0
	社会領域科目	0	2	2	-	0
	体育育英科目	0	0	0	-	0
	算科	0	13	13	10	10
	理科	0	9	9	-	9
	部外外国語	0	4	4	-	4
	部外専門科目	0	0	0	-	0
	科目、全学公開科目	36	86	-	-	86
	計	36	86	86	76	76
止	専入科目（必修）	0	8	8	8	8
	専入科目	0	4	4	2	2
	基礎科目	0	8	8	8	8
	専門科目	0	16	16	16	16
	基礎科目（理数）	0	4	4	2	4
	基礎科目（英・現）	0	12	12	8	12
	発展科目	22	0	22	22	22
	発展科目（理数）	4	0	4	2	4
	発展科目（英・現）	18	0	18	8	18
	応用科目・随修科目	16	12	28	20	20
	応用科目	12	8	20	-	20
	随修科目	4	4	8	-	8
	全学公開科目	0	0	0	-	0
	教養課程	0	0	0	-	0
	専修課程	0	0	0	-	0
応用教育課程	0	0	0	-	0	
学校司書課程	0	0	0	-	0	
学生員課程	0	0	0	-	0	
自由選択要件	0	0	0	28	28	
	単位当量率					

判定結

GPA	4.00
-----	------

オンライン授業修得上限単位		
履修	修得	合計

＜摘要＞

・分野別単位集計は授業科目区分ごとの修得単位です。

・単位振替後卒業単位は、各学部・学科のカリキュラムに基づいた卒業要件となる修得単位です。

単位振替後卒業単位は、卒業要件単位の修得を確認する目的で表
しています。したがって、卒業要件が設置されていない区分（卒
業要件が「—」表記となっている区分）については、原則として分
別単位集計の単位数を表示しています。

備考：再=再履修科目 * =低年次担当科目
区分：○=オンライン授業

EE99-1000A

今年度の成績

成績通知書の見方

214-8580
神奈川県川崎市多摩区東三田
2-1-1

令和 年度 専修大学 成績通知書

2100年 0月0日 出力

専修 太郎 様
EE99-1000A

学部学科	経済学部 現代経済学科	学籍番号	EE99-1000A
専攻・コース		氏名	専修 太郎
学年	X年度		
カリキュラム	2099年度		

カリ キュラム 種別	プログラム 企業産業プログラム

単位修得状況		分野別単位数計		卒業 要件	単位 修得率
授業科目区分	本年度 単位数	既得 単位数	計		
総合計	38	85	123	-	123
卒業要件合計	38	85	123	124	123
転換・導入科目	0	14	14	2	2
専修大学入門科目	0	2	2	-	0
専門入門ゼミナール	0	2	2	-	0
キャリア基礎科目	0	2	2	-	0
情報リテラシー科目	0	4	4	-	0
基礎自然科学	0	2	2	-	0
保健体育基礎科目	0	2	2	2	2
教養科目	0	10	10	8	8
人文社会科学基礎科目	0	10	10	8	8
社会科学基礎科目	0	8	8	-	8
自然科学系科目	0	0	0	-	0
融合領域科目	0	2	2	-	2
保健体育系科目	0	0	0	-	0
外国語科目	0	13	13	10	10
英語	0	9	9	-	9
英語以外の外国語	0	4	4	-	4
海外語学研修	0	0	0	-	0
専門科目・全学公開科目	38	46	86	-	76
専門科目	38	46	86	76	76
導入科目 (必修)	0	8	8	8	8
導入科目	0	4	4	2	2
基礎科目	0	8	8	8	8
基礎科目	0	16	16	16	16
基礎科目 (理論)	0	4	4	2	4
基礎科目 (実・理)	0	12	12	8	12
発展科目	22	0	22	22	22
発展科目 (理論)	4	0	4	2	4
発展科目 (実・理)	18	0	18	8	18
応用科目・関連科目	16	12	28	20	20
応用科目	12	8	20	-	20
関連科目	4	4	8	-	8
全学公開科目	0	0	0	-	0
教養課程	0	0	0	-	0
体育課程	0	0	0	-	0
体育教育課程	0	0	0	-	0
学校図書館課程	0	0	0	-	0
学生員課程	0	0	0	-	0
自由選択要件	0	0	0	28	27

判定結果	
GPA	4.00

オンライン授業修得上限単位	
履修 修得 合計	

<補足>
[単位修得状況について]
・分野別単位数計は授業科目区分ごとの修得単位数です。
・単位修得後卒業単位は、各学部・学科のカリキュラムに基づいた卒業要件となる修得単位数です。
【注意】
単位修得後卒業単位は、卒業要件単位の修得を確認する目的で表示しています。したがって、卒業要件が配置されていない区分(卒業要件が“-”表記となっている区分)については、原則として分野別単位数計の単位数を表示しています。

備考：再・再履修科目 ※1年次配当科目
区分：○オンライン授業 EE99-1000A

本年度成績修得終了科目										前年度までの修得科目									
科目	科目 区分	科目 区分	科目 区分	科目 区分	科目 区分	科目 区分	科目 区分	科目 区分	科目 区分	科目	科目 区分	科目 区分	科目 区分	科目 区分	科目 区分	科目 区分	科目 区分	科目 区分	科目 区分
==専門科目==										==転換・導入科目==									
==										==									
==発展科目 (理論)==										専修大学入門ゼミナール	1	2099	2	S					
経済成長論1	金	2	前	専修	教授	2	75	B+		キャリア入門	1	2099	2	A+	ミクロ経済学1	X	2099	2	C+
経済成長論2	金	2	後	専修	教授	2	66	C+		情報入門1	1	2099	2	S	ミクロ経済学2	X	2099	2	B
==発展科目 (実・理)==										情報入門2	1	2099	2	S	マクロ経済学1	X	2099	2	B+
地域経済論2	水	2	後	専修	教授	2	70	B		あなたと自然科学	1	2099	2	B	マクロ経済学2	X	2099	2	C+
産業論	水	1	前	専修	教授	2	78	B+		スポーツリテラシー	1	2099	1	B+	==基礎科目 (理論)==				
産業応用論	水	1	後	専修	教授	2	85	A+		スウェッチェルネス	1	2099	1	A	近代経済学史1	X	2099	2	S
労働経済学1	水	3	前	専修	教授	2	80	A		==教養科目==					近代経済学史2	X	2099	2	A+
労働経済学2	水	3	後	専修	教授	2	89	A+		==					==基礎科目 (実・理)==				
中堅企業論	月	1	前	専修	教授	2	72	B		==社会科学研究科目==					企業経済学1	X	2099	2	B
ベンチャー企業論	月	1	後	専修	教授	2	86	A+		==					企業経済学2	X	2099	2	A
情報経済論1	火	1	前	専修	教授	2	80	A											
多国語企業論	火	2	前	専修	教授	2	77												
==応用科目==																			
ゼミナール3	金	4	前	専修	教授	2	75												
ゼミナール4	金	4	後	専修	教授	2	85												
ゼミナール研究論文2	定	5	後	専修	教授	2	80												
学位特修科目	火	5	通	専修	教授	4	96												
外国経済事情 (英語)	月	2	前	専修	教授	2	90												
==関連科目==																			
地域と経済史	月	3	前	専修	教授	2	94												
福祉と経済史	金	3	前	専修	教授	2	76												
=====以下余白=====																			
										Intermediate English (RL) 1a	1	2099	1	A+	英語2	X	2099	2	A
										Intermediate English (RL) 1b	1	2099	1	A	=====以下余白=====				
										Intermediate English (SR) 1a	1	2099	1	B					
										Intermediate English (SR) 1b	1	2099	1	B+					
										Intermediate English (SR) 2a	X	2099	1	A+					
										Intermediate English (SR) 2b	X	2099	1	A+					
										English Speaking a	X	2099	1	S					
										English Speaking b	X	2099	1	S					
										Computer Aided Instruction for TOEIC a	X	2099	1	S					
										==英語以外の外国語==									
										==									
										中国語初級1 a	1	2099	1	S					
										中国語初級1 b	1	2099	1	S					
										中国語初級2 a	1	2099	1	S					
										中国語初級2 b	1	2099	1	S					
										==専門科目==									
										==									
										==導入科目 (必修)==									
										==									
										現代経済基礎	1	2099	2	C					
										経済学入門	1	2099	2	A+					
										ミクロ経済学入門	1	2099	2	B+					
										マクロ経済学入門	1	2099	2	C					

214-8580
神奈川県川崎市多摩区東三田
2-1-1

専修 太郎 様
EE99-1000A

学部学科	経済学部 現代経済学科	学籍番号	E E 9 9 - 1 0 0 0 A	カリ キュラム 種別	プログ ラム
専攻・コース		氏名	経済学知		
年次	X年次				
カリキュラム	2009年度		専修 太郎		

評價：S=100~90 A+=89~85 A=84~80 B+=79

本年度成績評価終了科目					前年度までの修得科目				
科目	年度	学期	担当	単位	科目	年度	学期	担当	単位
専門科目					一般教養科目				
経済学入門	1	前期	専任 教授	2	基礎数学	1	2009	2	1
経済成長論1	金	2	前期 専任 教授	2	75	B+	1	2009	2
経済成長論2	金	2	後期 専任 教授	2	66	C+	1	2009	2
一般教養科目(実・現)					専門科目				
地域経済論2	水	2	後期 専任 教授	2	70	B	1	2009	2
産業論	水	1	前期 専任 教授	2	78	B+	1	2009	2
産業経済論	水	1	後期 専任 教授	2	85	A+	1	2009	2
労働経済学1	水	3	前期 専任 教授	2	80	A	1	2009	2
労働経済学2	水	3	後期 専任 教授	2	89	A+	1	2009	2
中堅企業論	月	1	前期 専任 教授	2	72	B	1	2009	2
ベンチャー企業論	月	1	後期 専任 教授	2	86	A+	1	2009	2
情報経済論1	火	1	前期 専任 教授	2	80	A	1	2009	2
多国籍企業論	火	2	前期 専任 教授	2	77	B	1	2009	2
一般教養科目					一般教養科目				
ゼミナール3	金	4	前期 専任 教授	2	75	B+	1	2009	2
ゼミナール4	金	4	後期 専任 教授	2	85	A+	1	2009	2
ゼミナール研究論文2	定	定	後期 専任 教授	2	80	A	1	2009	2
海外研究研修	火	5	通期 専任 教授	4	95	S	1	2009	2
外国経済事情(英語)	月	2	前期 専任 教授	2	90	S	1	2009	2
一般教養科目					一般教養科目				
地域と経済史	月	3	前期 専任 教授	2	98	S	1	2009	2
福祉と経済史	金	3	前期 専任 教授	2	70	B	1	2009	2
=====以下余白=====					=====以下余白=====				
					Intermediate English (RL) 1a	1	2009	1	A
					Intermediate English (RL) 1b	1	2009	1	A
					Intermediate English (SW) 1a	1	2009	1	B
					Intermediate English (SW) 1b	1	2009	1	B+
					Intermediate English (SW) 2a	X	2009	1	A+
					Intermediate English (SW) 2b	X	2009	1	A+
					English Speaking a	X	2009	1	S
					English Speaking b	X	2009	1	A
					Computer Aided Instruction for IDEIC a	X	2009	1	S
					一般教養科目以外の外国語				
					中国語初級1 a	1	2009	1	S
					中国語初級1 b	1	2009	1	S
					中国語初級2 a	1	2009	1	S
					中国語初級2 b	1	2009	1	S
					専門科目				
					一般教養科目(必修)				
					現代経済学基礎	1	2009	2	C
					経済学入門	1	2009	2	A+
					ミクロ経済学入門	1	2009	2	B
					マクロ経済学入門	1	2009	2	C+

前年度までの修得科目											
科目	年次	年度	単位	区分	評価	科目	年次	年度	単位	区分	評価
＝転換・導入科目＝＝＝＝＝＝＝						－導入科目－					
＝						経済数学基礎	1	2099	2		B
専修大学入門ゼミナール	1	2099	2		S	統計学基礎	1	2099	2		A
経済基礎演習	1	2099	2		S	－基礎科目－					
キャリア入門	1	2099	2		A+	ミクロ経済学 1	X	2099	2		C+
情報入門 1	1	2099	2		S	ミクロ経済学 2	X	2099	2		B
情報入門 2	1	2099	2		S	マクロ経済学 1	X	2099	2		B+
あなたと自然科学	1	2099	2		B	マクロ経済学 2	X	2099	2		C+
スポーツリテラシー	1	2099	1		B+	――基幹科目（理論）――					
スポーツウェルネス	1	2099	1		A	近代経済学史 1	X	2099	2		S
＝教養科目＝＝＝＝＝＝＝＝＝						近代経済学史 2	X	2099	2		A+
＝						――基幹科目（実・現）――					
－社会科学基礎科目－						企業経済学 1	X	2099	2		B
－						企業経済学 2	X	2099	2		A
社会学入門	X	2099	2		A+	産業組織論 1	X	2099	2		C
情報社会	X	2099	2		A+	産業組織論 2	X	2099	2		A+
はじめての経営	X	2099	2		B	国際経済論 1	X	2099	2		A
企業と会計	X	2099	2		B	国際経済論 2	X	2099	2		B
－融合領域科目－						――応用科目――					
－						ゼミナール 1	2	2099	2		A
新領域科目 2（働き方の選択）	X	2099	2		A+	ゼミナール 2	2	2099	2		A

履修	修得	合計
<履修> [単位履修状況について] ・分野別単位数集計は授業科目区分ごとの修得単位です。		
・単位履修得卒業単位は、各学部・学科のカリキュラムに基づいた卒業要件となる修得単位です。		
【注意】 単位履修得卒業単位は、卒業要件単位の修得を確認する目的で表示しています。また、卒業要件が設定されていない区分(卒業要件なし)も表示になっている区分については、原則として分野別単位数集計の単位数を表示しています。		
備考：平成28年度科目★(平成28年度科目区分：O)オンライン授業		

単位計算の前に…

▶ 「自由選択修得要件単位」について

- 科目一覧の「備考」に「修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。」と記載がされている区分の科目
- 卒業要件単位を超えて、修得した単位

例

教養科目卒業要件 8 単位

あなたの教養科目の修得 12 単位

卒業要件を超えて修得 4 単位

自由選択修得要件単位
卒業要件 28 単位

4 単位が算入される

余分に修得した単位が
無駄になることは、
殆どない！

転換・導入科目

区 分		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	卒業要件単位		備 考
転換・導入科目	専修大学入門科目	専修大学入門ゼミナール					2	・卒業要件単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。
	専門入門ゼミナール	経済基礎演習						
	キャリア基礎科目	キャリア入門						
	情報リテラシー科目	情報入門1 情報入門2						
	基礎自然科学	あなたと自然科学						
	保健体育基礎科目	スポーツリテラシー スポーツウェルネス	【必修】(1) 【必修】(1)			2		

☒ 要チェック

☐ 『スポーツリテラシー』と『スポーツウェルネス』を修得している。

教養科目

区 分	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	卒業要件単位	備 考		
教 養 科 目	人文科学基礎科目	日本の文化 日本の文学 世界の文学 文学と現代世界 英語圏文学への招待 歴史の視点	歴史と地域・民衆 歴史と社会・文化 基礎心理学入門 芸術学入門 異文化理解の人類学 ジャーナリズムと現代			8	・卒業要件単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・テーマ科目は、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます（同一年度での複数履修も可能）。 ・教養テーマゼミナール論文は、教養テーマゼミナールの単位を修得し、次年度以降に同一教員の教養テーマゼミナールを履修する場合に作成（履修）することができます。 ・アドバンススポーツは、スポーツリテラシーとスポーツウェルネスの単位を修得していなければ、履修することができません。 ・アドバンススポーツは、種目にかかわらず、複数履修することができます。	
	社会科学基礎科目	日本国憲法 法と社会 政治学入門 政治の世界 地理学への招待	社会学入門 現代の社会学 教育学入門 子どもと社会の教育学 情報社会	はじめての経営 マーケティングベーシックス 企業と会計				
	自然科学系科目	自然科学実験演習 1 自然科学実験演習 2（4） 生物科学 1 a 生物科学 1 b 生物科学 2 a 生物科学 2 b	生物科学 3 a 生物科学 3 b 宇宙地球科学 1 a 宇宙地球科学 1 b 宇宙地球科学 2 a 宇宙地球科学 2 b	化学 1 a 化学 1 b 化学 2 a 化学 2 b 物理学 1 a 物理学 1 b	物理学 2 a 物理学 2 b 数理科学 1 a 数理科学 1 b 数理科学 2 a 数理科学 2 b			数理科学 3 a 数理科学 3 b 科学論 1 a 科学論 1 b 科学論 2 a 科学論 2 b
	融合領域科目		学際科目 1 学際科目 2 学際科目 3 学際科目 4	学際科目 5 学際科目 6 学際科目 7 学際科目 8	学際科目 9 学際科目 10 学際科目 11（4） 学際科目 12（4）			
			テーマ科目					
			新領域科目 1 新領域科目 2	新領域科目 3 新領域科目 4	新領域科目 5			
			キャリア科目 1 キャリア科目 2					
		教養テーマゼミナール 1（4）	教養テーマゼミナール 2（4）	教養テーマゼミナール 3（4）				
			教養テーマゼミナール論文					
保健体育系科目		アドバンススポーツ スポーツ論（健康と生涯スポーツ） スポーツ論（オリンピックとスポーツ） スポーツ論（スポーツコーチング）	スポーツ論（スポーツライフデザイン論） スポーツ論（人類とスポーツ） スポーツ論（トレーニング科学）					

要チェック

□ 『人文科学基礎科目』 『社会科学基礎科目』 『自然科学系科目』 『融合領域科目』
の中から、8単位以上を修得している。

教養科目（外国人留学生）

区 分		1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次		卒業要件単位	備 考
教 養 科 目	留 学 生 専 修 科 目	一般日本事情 1【必修】 一般日本事情 2【必修】								4	・卒業要件単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・テーマ科目は、科目名の括弧内に示す表記が異なれば、それぞれ履修することができます（同一年度での複数履修も可能）。 ・教養テーマゼミナール論文は、教養テーマゼミナールの単位を修得し、次年度以降に同一教員の教養テーマゼミナールを履修する場合に作成（履修）することができます。 ・アドバンススポーツは、スポーツリテラシーとスポーツウェルネスの単位を修得していなければ、履修することができません。 ・アドバンススポーツは、種目にかかわらず、複数履修することができます。
	人 文 科 学 基 礎 科 目	日本の文化 日本の文学 世界の文学 文学と現代世界 英語圏文学への招待 歴史の視点	歴史と地域・民衆 歴史と社会・文化 基礎心理学入門 応用心理学入門 哲学 倫理学	論理学入門 ことばと論理 芸術学入門 異文化理解の人類学 ジャーナリズムと現代							
	社 会 科 学 基 礎 科 目	日本国憲法 法と社会 政治学入門 政治の世界 地理学への招待	社会学入門 現代の社会学 教育学入門 子どもと社会の教育学 情報社会	はじめての経営 マーケティングベーシックス 企業と会計							
	自 然 科 学 系 科 目	自然科学実験演習 1 自然科学実験演習 2 (4) 生物科学 1 a 生物科学 1 b 生物科学 2 a 生物科学 2 b	生物科学 3 a 生物科学 3 b 宇宙地球科学 1 a 宇宙地球科学 1 b 宇宙地球科学 2 a 宇宙地球科学 2 b	化学 1 a 化学 1 b 化学 2 a 化学 2 b 物理学 1 a 物理学 1 b	物理学 2 a 物理学 2 b 数理科学 1 a 数理科学 1 b 数理科学 2 a 数理科学 2 b	数理科学 3 a 数理科学 3 b 科学論 1 a 科学論 1 b 科学論 2 a 科学論 2 b					
	融 合 領 域 科 目	学際科目 1 学際科目 2 学際科目 3 学際科目 4		学際科目 5 学際科目 6 学際科目 7 学際科目 8	学際科目 9 学際科目 10 学際科目 11 (4) 学際科目 12 (4)						
	テーマ科目										
目	保 健 体 育 系 科 目	新領域科目 1 新領域科目 2		新領域科目 3 新領域科目 4		新領域科目 5					
		キャリア科目 1 キャリア科目 2									
		教養テーマゼミナール 1 (4)		教養テーマゼミナール 2 (4)		教養テーマゼミナール 3 (4)					
				教養テーマゼミナール論文							
		アドバンススポーツ スポーツ論（健康と生涯スポーツ） スポーツ論（オリンピックとスポーツ） スポーツ論（スポーツコーチング）		スポーツ論（スポーツライフデザイン論） スポーツ論（人類とスポーツ） スポーツ論（トレーニング科学）							



要チェック

- ☐ 『留学生専修科目』から、4単位を修得している。
- ☐ 『人文科学基礎科目』『社会科学基礎科目』『自然科学系科目』『融合領域科目』の中から、8単位以上を修得している。

外国語科目

区 分	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	卒業要件単位	備 考		
英 語	A 群 Basics of English (9L) 1a (1) Basics of English (9L) 1b (1) または Intermediate English (9L) 1a (1) Intermediate English (9L) 1b (1)	D 群 Basics of English (SW) 2a (1) Basics of English (SW) 2b (1) または Intermediate English (SW) 2a (1) Intermediate English (SW) 2b (1) General English (1)			4 6	・卒業要件単位を履修した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 General English は、英語 (A・B・D 群) の単位を修得できなかった場合に履修する科目です。 ・2年次で英語 (D 群) または英語以外の外国語 (基礎) から英語以外の外国語 (導入) の科目と同一学級の中間 1 a・b を履修しなければなりません。		
	B 群 Basics of English (SW) 1a (1) Basics of English (SW) 1b (1) または Intermediate English (SW) 1a (1) Intermediate English (SW) 1b (1)							
	English Speaking a (1) English Speaking b (1)	Computer Aided Instruction a (1) Computer Aided Instruction b (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1) Computer Aided Instruction for TOEIC b (1)	Screen English a Screen English b		・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 English Speaking a・b, Advanced English a・b, English Language and Cultures a・b は、各科目 4 単位まで修得することができます。		
		Advanced English a Advanced English b English Language and Cultures a English Language and Cultures b	English Presentation a English Presentation b English Writing a English Writing b					
外国語科目	導入 ドイツ語初級 1 a (1) ドイツ語初級 1 b (1) ドイツ語初級 2 a (1) ドイツ語初級 2 b (1) フランス語初級 1 a (1) フランス語初級 1 b (1) フランス語初級 2 a (1) フランス語初級 2 b (1) 中国語初級 1 a (1) 中国語初級 1 b (1) 中国語初級 2 a (1) 中国語初級 2 b (1) スペイン語初級 1 a (1) スペイン語初級 1 b (1) スペイン語初級 2 a (1) スペイン語初級 2 b (1) ロシア語初級 1 a (1) ロシア語初級 1 b (1) ロシア語初級 2 a (1) ロシア語初級 2 b (1) インドネシア語初級 1 a (1) インドネシア語初級 1 b (1) インドネシア語初級 2 a (1) インドネシア語初級 2 b (1) コリア語初級 1 a (1) コリア語初級 1 b (1) コリア語初級 2 a (1) コリア語初級 2 b (1)				4 6	・卒業要件単位を履修した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・1 年次で英語以外の外国語 (導入) から同一学級の初級 1 a・b と初級 2 a・b を履修しなければなりません。 ・同一学級の科目をすべて (4 科目 4 単位) 履修している、あるいは履修している場合、他の言語を履修することはできません。 【年級 1 a・b】 ・2 年次で英語 (D 群) または英語以外の外国語 (基礎) から同一学級の中間 1 a・b を履修しなければなりません。 ・卒業要件単位として履修する場合、英語以外の外国語 (導入) の科目と同一学級を履修しなければなりません。 ・各科目 2 単位まで修得することができます。ただし、同一年度に同一科目を履修することはできません。 【年級 2 a・b】 ・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目 2 単位まで修得することができます。ただし、同一年度に同一科目を履修することはできません。		
	英語以外の外国語		ドイツ語中級 1 a (1) ドイツ語中級 1 b (1) フランス語中級 1 a (1) フランス語中級 1 b (1) 中国語中級 1 a (1) 中国語中級 1 b (1) スペイン語中級 1 a (1) スペイン語中級 1 b (1) ロシア語中級 1 a (1) ロシア語中級 1 b (1) インドネシア語中級 1 a (1) インドネシア語中級 1 b (1) コリア語中級 1 a (1) コリア語中級 1 b (1)	ドイツ語中級 2 a (1) ドイツ語中級 2 b (1) フランス語中級 2 a (1) フランス語中級 2 b (1) 中国語中級 2 a (1) 中国語中級 2 b (1) スペイン語中級 2 a (1) スペイン語中級 2 b (1)	ドイツ語中級 1 a (1) ドイツ語中級 1 b (1) フランス語中級 1 a (1) フランス語中級 1 b (1) 中国語中級 1 a (1) 中国語中級 1 b (1) スペイン語中級 1 a (1) スペイン語中級 1 b (1) ロシア語中級 1 a (1) ロシア語中級 1 b (1) インドネシア語中級 1 a (1) インドネシア語中級 1 b (1) コリア語中級 1 a (1) コリア語中級 1 b (1)	ドイツ語中級 2 a (1) ドイツ語中級 2 b (1) フランス語中級 2 a (1) フランス語中級 2 b (1) 中国語中級 2 a (1) 中国語中級 2 b (1) スペイン語中級 2 a (1) スペイン語中級 2 b (1)	4 6	・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同一年度に 2 単位、年度を越えてさらに 2 単位履修することができます。合計 4 単位まで修得することができます。
海外語学研修			選択ドイツ語 1 a (1) 選択ドイツ語 1 b (1) 選択フランス語 1 a (1) 選択フランス語 1 b (1) 選択中国語 1 a (1) 選択中国語 1 b (1)	選択スペイン語 1 a (1)	選択イタリア語 1 a (1)		・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目、同一年度に 2 単位、年度を越えてさらに 2 単位履修することができます。合計 4 単位まで修得することができます。	

「 General English 」は、「A群」修得できなかった場合の、再

「General English」は、「A群」「B群」「D群」の単位を修得できなかった場合の、再履修者専用の科目です。

外国語科目（外国人留学生）

区 分	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	卒業要件単位	備 考
日 本 語	日本語文章理解 1 (1) 日本語文章理解 2 (1) 日本語音声理解 1 (1) 日本語音声理解 2 (1) 日本語口頭表現 1 (1) 日本語口頭表現 2 (1) 日本語文章表現 1 (1) 日本語文章表現 2 (1)				8	・卒業要件単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・日本語の「導入」の科目を履修する場合、前期「1」と後期「2」はセットで履修しますが、前期「1」を単位修得できない場合は後期「2」の履修ができません。 ・応用日本語理解 1・2、応用日本語表現 1・2 を履修するためには、日本語の導入科目 8 単位をすべて修得していなければなりません。
		応用日本語理解 1 (1) 応用日本語理解 2 (1)	応用日本語表現 1 (1) 応用日本語表現 2 (1)			
	A 群 Basics of English (RL) 1a (1) Basics of English (RL) 1b (1) または Intermediate English (RL) 1a (1) Intermediate English (RL) 1b (1)					・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。
	B 群 Basics of English (SW) 1a (1) Basics of English (SW) 1b (1) または Intermediate English (SW) 1a (1) Intermediate English (SW) 1b (1)					
		D 群 Basics of English (SW) 2a (1) Basics of English (SW) 2b (1) または Intermediate English (SW) 2a (1) Intermediate English (SW) 2b (1)				
	English Speaking a (1) English Speaking b (1)	Computer Aided Instruction a (1) Computer Aided Instruction b (1)	Computer Aided Instruction for TOEIC a (1) Computer Aided Instruction for TOEIC b (1)			・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・English Speaking a・b, Advanced English a・b, English Language and Cultures a・b は、各科目 4 単位まで修得することができます。
		Advanced English a Advanced English b English Language and Cultures a English Language and Cultures b	English Presentation a English Presentation b English Writing a English Writing b	Screen English a Screen English b		
	ドイツ語初級 1 a (1) ドイツ語初級 1 b (1) ドイツ語初級 2 a (1) ドイツ語初級 2 b (1) フランス語初級 1 a (1) フランス語初級 1 b (1) フランス語初級 2 a (1) フランス語初級 2 b (1)	中国語初級 1 a (1) 中国語初級 1 b (1) 中国語初級 2 a (1) 中国語初級 2 b (1) スペイン語初級 1 a (1) スペイン語初級 1 b (1) スペイン語初級 2 a (1) スペイン語初級 2 b (1)	ロシア語初級 1 a (1) ロシア語初級 1 b (1) ロシア語初級 2 a (1) ロシア語初級 2 b (1) インドネシア語初級 1 a (1) インドネシア語初級 1 b (1) インドネシア語初級 2 a (1) インドネシア語初級 2 b (1)	コリア語初級 1 a (1) コリア語初級 1 b (1) コリア語初級 2 a (1) コリア語初級 2 b (1)	8	・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・母語以外の外国語の「導入」の各科目を履修する場合、同一言語の初級 1 a・b と初級 2 a・b の 4 科目 4 単位をセットで履修しなければなりません。 ・母語以外の外国語の「導入」の科目は、同一言語の科目をすべて（4 科目 4 単位）履修している、あるいは修得している場合、他の言語を履修することはできません。
		基礎 ドイツ語中級 1 a (1) ドイツ語中級 1 b (1) ドイツ語中級 2 a (1) ドイツ語中級 2 b (1) フランス語中級 1 a (1) フランス語中級 1 b (1) フランス語中級 2 a (1) フランス語中級 2 b (1)	中国語中級 1 a (1) 中国語中級 1 b (1) 中国語中級 2 a (1) 中国語中級 2 b (1) スペイン語中級 1 a (1) スペイン語中級 1 b (1) スペイン語中級 2 a (1) スペイン語中級 2 b (1)	ロシア語中級 1 a (1) ロシア語中級 1 b (1) ロシア語中級 2 a (1) ロシア語中級 2 b (1) インドネシア語中級 1 a (1) インドネシア語中級 1 b (1) インドネシア語中級 2 a (1) インドネシア語中級 2 b (1)	コリア語中級 1 a (1) コリア語中級 1 b (1) コリア語中級 2 a (1) コリア語中級 2 b (1)	・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目は、2 単位まで修得することができます。ただし、同一年度に同一科目を履修することはできません。
		応用 ドイツ語上級 1 a (1) ドイツ語上級 1 b (1) フランス語上級 1 a (1) フランス語上級 1 b (1) 中国語上級 1 a (1) 中国語上級 1 b (1) スペイン語上級 1 a (1) スペイン語上級 1 b (1)		ロシア語上級 1 a (1) ロシア語上級 1 b (1) インドネシア語上級 1 a (1) インドネシア語上級 1 b (1) コリア語上級 1 a (1) コリア語上級 1 b (1)		・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・各科目は、同一年度に 2 単位、年度を越えてさらに 2 単位履修することができます。合計 4 単位まで修得することができます。
		選択ドイツ語 1 a (1) 選択ドイツ語 1 b (1) 選択フランス語 1 a (1) 選択フランス語 1 b (1) 選択中国語 1 a (1) 選択中国語 1 b (1)	選択スペイン語 1 a (1) 選択スペイン語 1 b (1) 選択コリア語 1 a (1) 選択コリア語 1 b (1) 選択アラビア語 1 a (1) 選択アラビア語 1 b (1)	選択イタリア語 1 a (1) 選択イタリア語 1 b (1)		・修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。 ・選択 1 a・b を履修するためには、母語以外の外国語「導入」から同一言語の初級 1 a・b と初級 2 a・b をすべて（4 科目 4 単位）履修していなければなりません。 ・選択 1 a・b を履修する場合には、「導入」で 4 科目 4 単位を履修した言語とは異なる言語から、同一言語の選択 1 a・b をセットで履修してください。



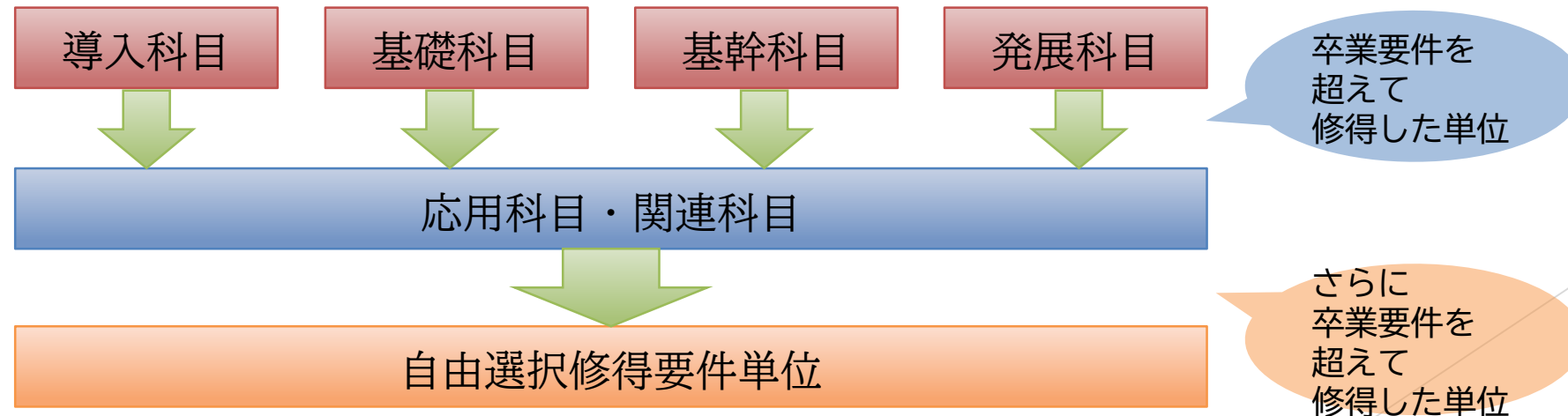
要チェック

□「日本語（導入）」から、
8 単位を修得している。



専門科目の単位計算の前に…

- ▶ 欄外の「※」を要チェック。
- ▶ 4年次で**専門科目を8単位以上**修得しなければなりません。
- ▶ **導入科目**、**基礎科目**、**基幹科目**、**発展科目**の卒業要件単位を超えて修得した単位は、**応用科目**、**関連科目**の卒業要件単位に算入されます。
- ▶ **応用科目**、**関連科目**の卒業要件単位を超えて修得した単位は、**自由選択修得要件単位**に算入されます。



専門科目一覧

※科目の後ろの()内の数字は単位数を示す。記載のない科目は2単位。

区 分	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	卒業要件単位	備 考
専 門 科 目	導 入 科 目	現代経済基礎 経済学入門 ミクロ経済学入門 マクロ経済学入門 経済数学基礎 統計学基礎			8 2	10
	基 礎 科 目		ミクロ経済学1 ミクロ経済学2 マクロ経済学1 マクロ経済学2 統計学1 統計学2		8	
	基 幹 科 目	理論系 実証・現状分析系	ゲーム理論1 ゲーム理論2 経済数学1 経済数学2 日本経済論1 日本経済論2 経済政策1 経済政策2 財政学1 財政学2 金融論1 金融論2 企業経済学1 企業経済学2	近代経済学史1 近代経済学史2 産業組織論1 産業組織論2 国際経済論1 国際経済論2 日本経済史1 日本経済史2 西洋経済史1 西洋経済史2	2 8	16
	発 展 科 目	理論系 実証・現状分析系	中級ミクロ経済学1 中級ミクロ経済学2 中級マクロ経済学1 中級マクロ経済学2 計量経済学1 計量経済学2 経済統計論1 経済統計論2 公共経済学1 公共経済学2 地方財政論1 地方財政論2 地域経済論1 地域経済論2 金融政策1 金融政策2 応用ミクロ経済学A 応用ミクロ経済学B 産業論 産業政策論 労働経済学1 労働経済学2	進化経済学基礎 進化経済学応用 経済成長論1 経済成長論2 国際マクロ経済学1 国際マクロ経済学2 中堅企業論 ベンチャー企業論 企業金融論 証券投資論 情報経済論1 情報経済論2 国際金融論 多国間企業論 経営の国際比較 貿易論 社会保障論1 社会保障論2 環境経済論1 環境経済論2	2 8	22
科 目	応 用 科 目	ゼミナール1 ゼミナール2 ゼミナール研究論文1 学外特別研修(4) 社会教養特別講座	ゼミナール3 ゼミナール4 ゼミナール研究論文2 寄付講座 特別講義 外国経済事情(英語) 外国経済事情(ドイツ語)	ゼミナール5 ゼミナール6 ゼミナール研究論文3 外国経済事情(フランス語)		6
	関 連 科 目	簿記原理1 簿記原理2	会計学1 会計学2 憲法1 憲法2 民法1 民法2 商法1 商法2 経済史の見方 地域と経済史 都市と経済史 環境と経済史 福祉と経済史 労働と経済史 経済地理1 経済地理2 経済学史1 経済学史2	労働法1 労働法2 経済法1 経済法2 行政学1 行政学2 世界経済史1 世界経済史2 アメリカの経済 アジアの経済1 アジアの経済2 ヨーロッパの経済1 ヨーロッパの経済2 ロシアの経済 経済社会と女性	20	
		日本史1 日本史2 外国史1 外国史2 人文地理学概論1 人文地理学概論2 自然地理学概論1 自然地理学概論2	地理学1 地理学2 地誌学1 地誌学2 法学1 法学2 宗教学1 宗教学2 倫理学1 倫理学2			10
自由選択修得要件単位					28	

卒業要件を
超えて
修得した単位

さらに
卒業要件を
超えて
修得した単位

※4年次で専門科目を8単位以上修得しなければなりません。3年次終了までに卒業要件単位(76単位)を満たしている場合でも同様です。
※導入科目、基礎科目、基幹科目、発展科目の卒業要件単位を超えて修得した単位は、応用科目、関連科目の卒業要件単位に算入されます。
※応用科目、関連科目の卒業要件単位を超えて修得した単位は、自由選択修得要件単位に算入されます。

専門科目（導入科目）

区 分	1 年 次 科 目	2 年 次 科 目	3 年 次 科 目	4 年 次 科 目	卒 業 要件単位		備 考
導 入 科 目	現代経済基礎 経済学入門 ミクロ経済学入門 マクロ経済学入門				8	10	
	経済数学基礎 統計学基礎				2		



要チェック

- ☐ 必修科目（4科目8単位）を修得している。
- ☐ 「経済数学基礎」「統計学基礎」のいずれかを修得している。

注 意

- ☐ 「現代経済基礎」「経済学入門」「ミクロ経済学入門」「マクロ経済学入門」は進級条件の対象科目です。2年次終了までに3科目6単位を修得しないと、3年次に進級することができません。

専門科目（基礎科目）

区 分		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	卒 業 要件単位	備 考
		科 目	科 目	科 目	科 目		
	基礎科目		ミクロ経済学1 ミクロ経済学2 マクロ経済学1 マクロ経済学2 統計学1 統計学2			8	

☒ 要チェック

☐ 8単位以上を修得している。

専門科目（基幹科目）

区 分		1 年 次 科 目	2 年 次 科 目	3 年 次 科 目	4 年 次 科 目	卒 業 要件単位	備 考
専	基 幹 科 目		理論系 ゲーム理論1 ゲーム理論2 経済数学1 経済数学2	近代経済学史1 近代経済学史2		2	・基幹科目からは、「理論系」「実証・現状分析系」に設定された各卒業要件単位を充足したうえで、16単位以上修得しなければなりません。
			実証・現状分析系 日本経済論1 日本経済論2 経済政策1 経済政策2 財政学1 財政学2 金融論1 金融論2 企業経済学1 企業経済学2	産業組織論1 産業組織論2 国際経済論1 国際経済論2 日本経済史1 日本経済史2 西洋経済史1 西洋経済史2		8	

要チェック

- ☐ 「理論系」から、2単位以上修得をしている。
- ☐ 「実証・現状分析系」から、8単位以上修得をしている。
- ☐ 「理論系」と「実証・現状分析系」の修得単位を合計して、16単位以上を修得している。

専門科目（発展科目）

区 分		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	卒 業 要件単位		備 考
		科 目	科 目	科 目	科 目			
門	発展科目			理論系 中級ミクロ経済学1 中級ミクロ経済学2 中級マクロ経済学1 中級マクロ経済学2 計量経済学1 計量経済学2 経済統計論1 経済統計論2	進化経済学基礎 進化経済学応用 経済成長論1 経済成長論2 国際マクロ経済学1 国際マクロ経済学2	2		・発展科目からは、「理論系」「実証・現状分析系」に設定された各卒業要件単位を充足したうえで、22単位以上修得しなければなりません。
				実証・現状分析系 公共経済学1 公共経済学2 地方財政論1 地方財政論2 地域経済論1 地域経済論2 金融政策1 金融政策2 応用ミクロ経済学A 応用ミクロ経済学B 産業論 産業政策論 労働経済学1 労働経済学2	中堅企業論 ベンチャー企業論 企業金融論 証券投資論 情報経済論1 情報経済論2 国際金融論 多国籍企業論 経営の国際比較 貿易論 社会保障論1 社会保障論2 環境経済論1 環境経済論2	8	22	



要チェック

- ☐ 「理論系」から、2単位以上修得をしている。
- ☐ 「実証・現状分析系」から、8単位以上修得をしている。
- ☐ 「理論系」と「実証・現状分析系」の修得単位を合計して、22単位以上を修得している。

専門科目（応用科目・関連科目）

区 分		1 年 次		2 年 次		3 年 次		4 年 次		卒 業 要件単位	備 考
		科 目		科 目		科 目		科 目			
科 目	応用科目			ゼミナール1 ゼミナール2 ゼミナール研究論文1	ゼミナール3 ゼミナール4 ゼミナール研究論文2	ゼミナール5 ゼミナール6 ゼミナール研究論文3				20	・ゼミナールとゼミナール研究論文は同一教員のも のを履修しなければなりません。 ・寄付講座は、6単位まで修得することができます。 ・特殊講義は、8単位まで修得することができます。 ・外国経済事情は、それぞれの言語で、8単位まで 修得することができます。
				学外特別研修(4) 社会教養特別講座	寄付講座 特殊講義	外国経済事情(英語) 外国経済事情(フランス語) 外国経済事情(ドイツ語)					
			簿記原理1 簿記原理2	会計学1 会計学2							
					憲法1 憲法2 民法1 民法2 商法1 商法2	労働法1 労働法2 経済法1 経済法2 行政学1 行政学2					
					経済史の見方 地域と経済史 都市と経済史 環境と経済史 福祉と経済史 労働と経済史 経済地理1 経済地理2 経済学史1 経済学史2	世界経済史1 世界経済史2 アメリカの経済 アジアの経済1 アジアの経済2 ヨーロッパの経済1 ヨーロッパの経済2 ロシアの経済 経済社会と女性					
					日本史1 日本史2 外国史1 外国史2 人文地理学概論1 人文地理学概論2 自然地理学概論1 自然地理学概論2	地理学1 地理学2 地誌学1 地誌学2 法律学1 法律学2 宗教学1 宗教学2 倫理学1 倫理学2					・日本史、外国史、人文地理学概論、自然地理学概 論は、2年次以降履修することができません。 ・地理学、地誌学、法律学、宗教学、倫理学は、3年 次以降履修することができません。



要チェック

☐ 20単位以上を修得している。

自由選択修得要件単位



要チェック

☐ 28単位以上（「外国人留学生」は26単位以上）修得をしている。

成績通知書「単位修得状況」の見方

単位修得状況

授業科目区分	分野別単位集計			卒業要件	単位 振替後 卒業単位
	本年度	既修得	計		
総合計	38	85	123	-	123
卒業要件合計	38	85	123	124	123
転換・導入科目	0	14	14	2	2
専修大学入門科目	0	2	2	-	0
専門入門ゼミナール	0	2	2	-	0
キャリア基礎科目	0	2	2	-	0
情報リテラシー科目	0	4	4	-	0
基礎自然科学	0	2	2	-	0
保健体育基礎科目	0	2	2	2	2
教養科目	0	10	10	8	8
人社会融	0	10	10	8	8
人文科学基礎科目	0	0	0	-	0
社会科学基礎科目	0	8	8	-	8

分野別単位集計

本年度：本年度中に修得した単位
 既修得：昨年度までに修得した単位
 計：「本年度」＋「既修得」

単位振替後卒業単位

「自由選択修得要件」をはじめとした、
 単位の移動を反映。

「計」を整理・再計算した単位

【注意】

「外国語科目」の単位は、卒業要件となる
 10単位を全て揃えるまでは、**自由選択修得
 要件単位に算入されます。**

成績通知書「単位修得状況」の見方

単位修得状況

授業科目区分	分野別単位集計			卒業要件	単位 振替後 卒業単位
	本年度	既修得	計		
総合計	38	85	123	-	123
卒業要件合計	38	85	123	124	123
転換・導入科目	0	14	14	2	2
専修大学入門科目	0	2	2	-	0
専門入門ゼミナール	0	2	2	-	0
キャリア基礎科目	0	2	2	-	0
情報リテラシー科目	0	4	4	-	0
基礎自然科学	0	2	2	-	0
保健体育基礎科目	0	2	2	2	2
教養科目	0	10	10	8	8
人社自融	0	10	10	8	8
人文科学基礎科目	0	0	0	-	0
社会科学基礎科目	0	8	8	-	8

つまり…

「単位振替後卒業単位」と「卒業要件」の単位を比較

「単位振替後卒業単位」 $\geq$ 「卒業要件」
であれば、該当の科目区分は卒業要件を満たしている。

「単位振替後卒業単位」 $<$ 「卒業要件」
であれば、卒業要件を満たしていないため、不足している
単位以上の授業を履修・修得する必要がある。

自身の単位修得および卒業要件単位の達成状況を十分に把握し、計画的な履修を心掛けましょう！

履修登録の注意点

履修登録の心構え

自身の修得が必要な単位数を把握した上で、
計画的な履修登録を行うことが重要！！

▶ 単位の修得が遅くなると…

- ① 『4年次の卒業発表時』の不安・リスクの増大
- ② 就職活動や課外活動などへの影響
- ③ 再履修等の影響で、自由に時間割を組めない

卒業は4年間の積み重ねです。

卒業（成績）発表後の救済措置は一切ありません。



Web履修登録スケジュールの確認

- ▶ 「経済学部時間割」冊子（P22）に、詳細なスケジュールを掲載。

前期は勿論ですが、後期の履修登録の時期を忘れないようにしましょう。

※履修登録に関する詳細は、時間割冊子P22～45

年 月	履修登録可能日 および時間帯	備 考
4/2(水)	10 : 00 ～ 23 : 00	履修登録開始（2年次以上） 10 : 00～ 履修登録開始（1年次） 12 : 00～
4/3(木)	10 : 00 ～ 23 : 00	
4/4(金)	10 : 00 ～ 23 : 00	
4/5(土)	10 : 00 ～ 23 : 00	抽選対象授業申込期限日
4/6(日)	—	抽選日
4/7(月)	10 : 00 ～ 12 : 00	抽選結果公表（結果確認のみ可能）
	12 : 30 ～ 23 : 00	先着順登録開始日（学年別の履修開始時間は次のとおり） ・ 12 : 30 ～ 3年次以上 ・ 13 : 00 ～ 2年次 ・ 15 : 00 ～ 1年次
4/8(火)	10 : 00 ～ 23 : 00	
4/9(水)	10 : 00 ～ 23 : 00	履修登録最終日
4/10(木)	—	
4/11(金)	—	履修届控ダウンロード/履修修正受付開始 10 : 00～
4/12(土)	—	
4/13(日)	—	
4/14(月)	—	履修修正受付

Web履修登録の組み方

毎年、履修登録後に必ず来るお問い合わせ（例

年 月	履修登録可能日 および時間帯	備 考
4/2(水)	10:00 ~ 23:00	履修登録開始 (2年次以 履修登録開始 (1年次)
4/3(木)	10:00 ~ 23:00	
4/4(金)	10:00 ~ 23:00	
4/5(土)	10:00 ~ 23:00	抽選対象授業申込期限日
4/6(日)	—	抽選日
4/7(月)	10:00 ~ 12:00	抽選結果公表 (結果確認のみ可)
	12:30 ~ 23:00	先着順登録開始日 (学 ・12:30 ~ 3年次以 ・13:00 ~ 2年次 ・15:00 ~ 1年次
4/8(火)	10:00 ~ 23:00	
4/9(水)	10:00 ~ 23:00	履修登録最終日
4/10(木)	—	
4/11(金)	—	履修届控ダウンロード/履修修正受付開始 10:00~
4/12(土)	—	
4/13(日)	—	
4/14(月)	—	履修修正受付

8 ~ 9 割の

履修を完成させる

バイトが忙しくて
忘れていました(笑

【注意】アクセス集中

学生の本分。優先すべき順番を
間違えていませんか？

抽選結果を確認し、
微修正。

とおり)

【注意】アクセス集中

あと10分もあったのに、
なんかエラーが出た！！
おかしい！！

どうしても困ったら、窓口へ

毎年・毎年、締め切りギリギリの
作業は辞めるようご案内しています。

抽選対象科目の注意点

- ▶ 抽選対象授業申込期限日 4月5日（土）23：00まで
⇒ この時点までに、Web履修申請を行わないと
該当の科目を履修できない可能性があります。
 - ▶ 抽選結果公表後 4月7日（月）13：00～（2年次）
 - ⇒ 抽選に**当選した場合**は、該当科目の削除はできない。
 - ⇒ 定員に達した科目の申込はできない。
 - ⇒ 定員に達していない科目は、**先着順で履修申請を受付**。

【注意】 申請し、保存をすると履修確定となり、該当科目の削除はできない。
 - ▶ 専門科目の履修制限が発生する場合がある。
時間割冊子 P44～45「（3）専門科目における履修者数の制限（抽選の実施）について」参照。
- 【その他、履修の際に特殊な手続き等が必要な科目について】
時間割冊子 P43～45「1. 特別な履修手続きをする科目について」参照。



【注意】抽選の当落を必ず確認すること！！

- ▶ 履修登録申請を行っただけで、手続きを終えている方が多数。

⇒ 抽選に落ちたことに気付かず、履修登録がされていないのに授業を受け続け…
試験を受けていても、課題を出していても、

単位は認められません。

- ▶ やるべきこと

① 抽選の結果を確認する

⇒ 抽選の結果発表 4月7日（月）10:00～

② 履修登録期間後に「履修届控」を確認する

⇒ 履修届控のダウンロード開始 4月11日（金）10:00～

履修登録したはず！！
保存ボタンを押した！！
クラスルームも登録した！！



「履修届控」があなたの履修の証明です。

講義要項（シラバス） は必ず読むこと

▶ 講義要項（シラバス）は、必ず確認しましょう。

▶ 特にチェックすべき項目

①授業運営方法（対面・オンライン）

②成績評価方法・基準

③履修上の留意点

④担当教員へのアクセス（困った時の連絡方法）

オンライン授業の算入上限に注意

▶ オンライン授業による修得単位の上限について

オンライン授業で修得した単位が、卒業要件に算入されるのは、

60単位までです。

基本的には対面授業を中心に履修を組むことを意識しましょう。

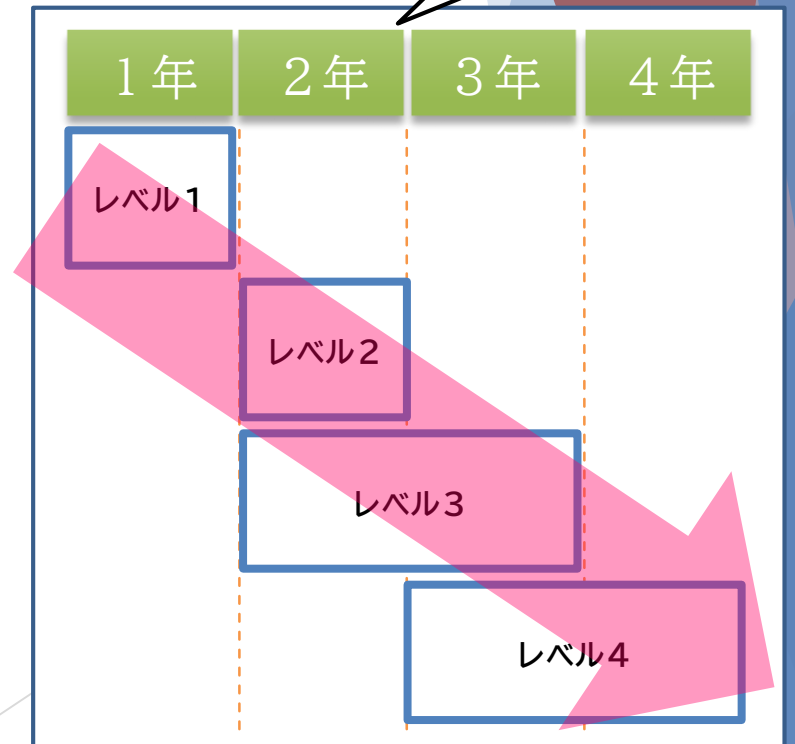
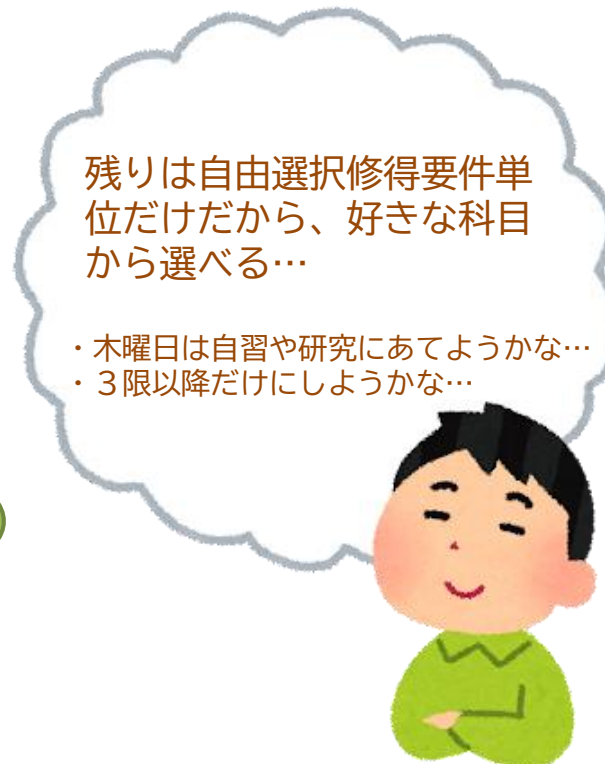
※本内容は、時間割冊子 P21「4. 履修に関する注意事項」(4)に記載。

再履修・低年時配当科目を優先的に！

▶ 以下のような科目は、早期に卒業要件を満たせるように修得しましょう。

- ① 必修科目
- ② 早期に卒業要件を満たすことができる科目（外国語・保健体育基礎科目など）
- ③ 選択の幅が狭まってしまう「教養科目」

配当年次を意識して履修計画を考えるのもポイント！



各年次における履修上限単位数を確認

▶ 各年次における履修上限単位

1年間に履修登録できる単位数です。

どんな理由があっても、これ以上の授業登録はできません。

学科、年次によって上限が異なるため

履修登録の際には注意してください。

▶ 前期と後期のバランスを考えて履修登録をしましょう。

改めてになりますが、
救済措置は一切ありません。



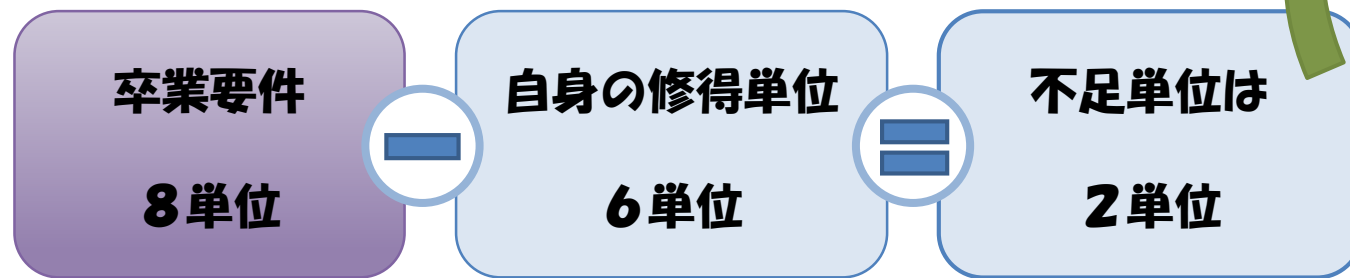
余裕をもった履修登録の話（１）

▶ 余裕を持った履修登録を心掛けましょう。

理想は区分ごとの卒業要件単位 + 4単位くらいは多く履修登録をしよう！

※余分に修得した単位が無駄になることは殆どありません！

履修登録をしておかないと、成績評価がつきません！



何があっても大丈夫なように
余裕をもって、
6単位くらい（余分に4単位）
は登録しておこうかな…

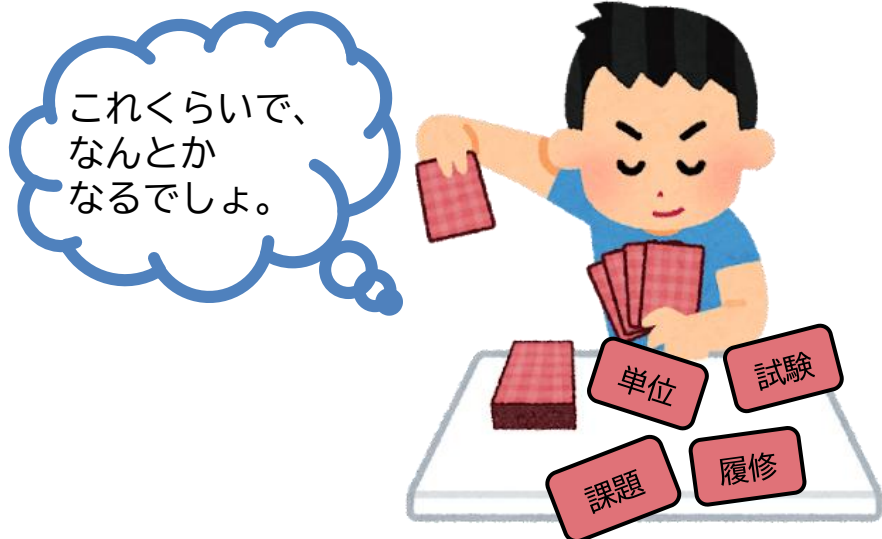


余裕をもった履修登録の話（２）

▶ 何故か毎年いる…

- ① 卒業要件単位の１２４単位ぴったりで卒業をしようとする人
- ② 単位修得のラインである６０点ぴったりで単位をとろうとする人

▶ 【結果】卒業できない人がいる。



55点

繰り返しになりますが、
救済措置は一切ありません。

今年度の「時間割」冊子の要点解説

表紙裏 学事暦（学部）

- ▶ 「学事暦」とは、専修大学のカレンダーです。

以下の場所で確認できます。

①「経済学部時間割」冊子、表紙裏。

②本学HP内

<https://www.senshu-u.ac.jp/campuslife/gakujireki/>

※ 右側のQRコードからもアクセスできます。



- ▶ 押さえておくべき日程

①授業期間

②定期試験・追試験期間（定期試験規程準用試験）

③休日（授業の無い日）

P20～45 履修案内

- ▶ 入学年度に応じたページを参照してください。
 - P26～37 2020（令和2）年度以降 入学者用
 - P38～42 2019（平成31）年度以前 入学者用
- ▶ 学科・年次に応じて、必修・必履修が無いかをご確認ください。
- ▶ 単位の修得状況を確認し、再履修が必要な場合は、
該当の科目区分のページを参照し、履修登録を行ってください。
- ▶ 履修に際して、特別な手続きが必要となる科目については、
P43「1. 特別な履修手続きをする科目について」を確認してください。

P45 「ゼミナール」および「ゼミナール研究論文」

時期（予定）	内容
3月下旬～4月上旬	4月募集（2・3年次対象）
6月下旬	募集日程の掲示
10月上旬	募集ガイダンス
10月上旬	募集説明会
10月中旬～10月下旬	公開ゼミナール
11月	1次募集・選考期間
11月下旬	1次合格者発表
12月	2次募集・選考期間
12月下旬	2次合格者発表

in Campusのお知らせ

『【教務課(経済学部)】ゼミナール4月募集のお知らせ』

で詳細を掲出中！

P46～47 資格試験による単位認定

- ▶ 2年次以上で申請できるのは「英語」のみ。
 - 詳細は、in Campusでお知らせいたします。
 - 「対象となる資格・スコア」や「認定対象科目」については、時間割冊子をご確認ください。

※「英語以外の外国語」の単位認定は、1年次のみの受付となります。

P47 学部間相互履修制度による全学公開科目

- ▶ 他学部の専門科目（授業）を履修できる制度です。
- ▶ 単位を修得した場合は「自由選択修得要件単位」に算入されます。
⇒ ご自身の単位修得状況を十分に確認した上で、
 余裕がある場合に本制度を利用することをお勧めします。
- ▶ 申請方法等の詳細は、時間割冊子またはin Campusのお知らせをご確認ください。

P48～49 試験

- ▶ 自分が受ける試験が「定期試験」「定期試験規程準用試験」「授業内試験」のどれに該当するのか、しっかり確認するように。
- ▶ 「定期試験」「定期試験規程準用試験」の場合は「試験時間割」が掲出されます。
試験曜日・時限・教室を必ず確認するように。
- ▶ 「定期試験」「定期試験規程準用試験」の場合は、
追試験規程や不正行為者処分規程など、様々なルールがあります。
詳細は「学修ガイドブック」や「時間割」冊子を参照してください。

P50 履修中止制度

▶ 申請期間

- 前期および通年科目 5月下旬～6月上旬（1週間程度）
- 後期科目 10月下旬～11月上旬（1週間程度）

※詳細な期間や対象科目は、時期が近付いたらin Campusでお知らせ。

▶ 履修中止をした分、別の科目を追加履修することは出来ません。

GPAを下げたくない等、明確な理由がある際に活用する制度。

▶ 全ての科目を履修中止できるわけではありません。

P50～51 オフィス・アワー

▶ 先生に連絡をとりたい場合の手順について

- ① 講義要項（シラバス）に記載された「担当教員へのアクセス」を確認し、
記載された方法で連絡をする。
- ② 教員が授業で使用している「in Campus」や「クラスルーム」に設定された
連絡手段を活用する。
- ③ 授業の前後に声を掛け、ご都合を伺う。
- ④ 「オフィスアワーを活用し、研究室等へ足を運ぶ。

▶ 先生もご多忙です。メールを送って即日に返信があるわけではありません。

P53 教務課について

- ▶ 窓口時間 平日 9：00～17：00 ／ 土曜 9：00～12：00
 ※学内行事等を理由に、窓口業務を行わない場合があります。
 特に土曜日は避け、平日に問い合わせるようにしてください。
 ※夏期・春期休暇期間中等、窓口時間が変更となる場合があります。
- ▶ 問合せ 経済学部窓口
 044-911-1257
 ekyomu@acc.senshu-u.ac.jp
- ▶ ご連絡 履修・成績に関する相談の際は、**成績通知書を印刷**のうえ
 来窓ください。なお、卒業の可否等はお答えできません。
- ▶ 証明書 4号館1階410教室前の証明書発行機で発行できます。
 「学生証」と「費用」をご持参ください。

P54～55 休学・退学・学期末卒業・卒業延期・転部科

- ▶ 休学・退学 教務課（経済学部）窓口にお越しく下さい。
- ▶ 学期末卒業 **5年次以上が対象**です。申請することにより、卒業要件を満たせば前期で卒業することができます。
詳細はin Campusをご確認ください（4月中に掲載予定）。
- ▶ 卒業延期制度 **4年次以上が対象**です。申請することにより、最大で1年間延長して在学できます。
詳細はin Campusをご確認ください。
- ▶ 転部科 **1年次生が対象**です。
希望者は11月下旬の転部科ガイダンスに出席してください。

「時間割」冊子特設サイトにて

- ▶ 「時間割」冊子のPDF

- ▶ 本日紹介した

- ①履修ガイダンス

- ②履修登録の注意点

- ③単位修得状況の確認方法
の各種動画版

- ▶ 履修登録に係る資料 等



⇒ 後期の履修登録に備えて「ブックマーク」を推奨。

【お知らせ】 「respon（レスポン）」について

- ▶ 授業で使用するため、必ずインストールをお願いします。
- ▶ 「responアプリ初期設定マニュアル」は、in Campusの「ライブラリ」内、「【教務課】respon関連資料」に掲載されています。

【よくあるお問い合わせ】

「respon」のID/PASSがわからない！

in Campusのパスワードで入れない！

⇒ ID/PASSは、マニュアルに沿って発行してください。

【お知らせ】 その他

▶ 授業教室について

Web履修システムで履修登録を行うと、

翌朝にin Campus内、LMS（時間割）に情報が反映されます。

授業教室は、『Web履修システム』または『in Campus』で確認してください。

2025(令和7)年度 経済学部ガイダンス 履修ガイダンス

質問は、教務課（経済学部）窓口に
早めにお問い合わせください。